



第28号

平成25年1月1日発行

NHO沼田病院だより

National Hospital Organization Numata National Hospital



当院屋上から子持山方面を望む

理 念

基本理念 心のこもった質の高い医療を行う病院

基本方針

- 1 患者さんを中心にチーム医療で臨みます。
- 2 患者さんの心に通うサービスに努めます。
- 3 患者さんに信頼される健全経営を目指します。

行 動 姿 勢

- 1 **現 場 主 義**——現場に戻ろう！
- 2 **実 績 主 義**——隠れた実績を大切にしよう！
- 3 **患者中心主義**——患者の立場で考えよう！
- 4 **チ ー ム 医 療**——お互いに助け合おう！
自分の意見をはっきり言おう！
相手の意見をしっかりと聞こう！

行 動 指 針

政策医療と地域医療の実践

発行／独立行政法人国立病院機構 沼田病院 群馬県沼田市上原町1551-4

TEL0278-23-2181 (代) FAX0278-24-1819 URL <http://www.numata-hosp.jp/>

年頭のご挨拶

院長 桑原 英真



新年明けましてお目出度うございます。

昨年末にはまたも政権交代で左右に大きく振れている政治状況で、医療行政もこまぎれ行政がまだ続くことは覚悟しておいた方が良いでしょう。ふり返ってみれば7年前「医師の立ち去り型サボタージュ」という言い得て妙な言葉が発せられ医療崩壊のまただ中で理不尽さを感じつつも妙に納得してしまいましたが、現実はお役割分担と称する現在のプチ専門医志向、専門分化ネットワーク化という政策の方向性はもう変わらないでしょう。

これからは益々増える医療のすき間を如何にして埋めていくかと言う課題に挑戦しながら現実の医療行政の流れに乗っていくことが我々医療現場の従事者にとって大きな命題になると感じているこの頃です。

選択と集中という企業理念が集約化という行政理念となり医療界も例外ではなく当院も医師の引き上げ等で経営は赤字基調でした。やっと平成21年度から黒字基調に転換してお陰様で多くの投資をさせて頂きました。投資を抑えて爪に火を灯すような我慢を職員に課したお返しがやっと出来ました。

特に平成23年度は10数年分を一気に投資出来たと言うくらい大きな投資でした。そのため収支を赤字にしてしまい健全経営の視点からは若干問題ありですが医療機器の老朽化対策は必要不可避であり医療の質を優先させたやむを得ない処置でした。

この2～3年間だけで、MDCT装置、10数年来の念願であったライナック装置更新を始め片っ端から更新時期を過ぎてしまったRIシンチグラム (SPECT)、アンギオ装置 (DSA)、オートアナライザー、医事会計システム&オーダーリングシステム、患者認証システム、EOG滅菌装置、自動固定包埋装置、そして医療画像フィルムレス化 (院内PACS) 導入、高度内視鏡手術可能な内視鏡センター新設、地域医師会PACS、など挙げたらきりがありませんがハード面でのスタート地点でもあります。

そしてソフト面でも人手不足で出来なかった検査科、放射線科、薬剤科の当直体制が昨年7月からやっと開始できました。これは救急医療のスタート地点でもあります。

当院では医療のすき間を埋めるべく従来より大型バスによる巡回診療を行っておりますが、最近の細切れ医療やプチ専門医志向のなかで助長されている従来とは趣の異なったすき間医療に対してがん哲学外来を行っております。これは誰でも出来るものではなく、順天堂大学医学部教授の樋野興夫先生のご厚意で一昨年よりほぼ毎月無料で患者家族の方々に対してがんサロン「ふれあい」にて行っているものですが、これに関連して昨年末に内村鑑三記念「がん哲学外来」開設一周年シンポジウムも開催できました。

今後も、今私たちに求められているものは何か、を問いながら地道な努力を継続していけたらいいなと考えております。

さらに昨年末に新病棟の設計入札公告ができましたので、健全経営に向かって職員のマインドもさらに上昇志向に転じました。今後は次年度の建設に向けて職員全員の意見を集約して理想のレイアウトを求めていく年になると思います。

残り今年度そして4月からの新年度に向けてさらなる医療の充実と地域貢献に邁進したいと職員一同考えておりますので、本年もご指導を宜しくお願い申し上げます。

呼吸器内科のご案内

Guidance

現在日本人の死因の第1位は皆さんご存知の通り“がん”です。そして“がん”のなかでも“肺癌”は最も多い病気の一つです。肺癌治療は未だ完全に治癒できる治療法は確立されていませんが、近年目覚ましい進歩と遂げています。

肺癌の治療は大きく分けて、外科治療・放射線治療と抗がん剤による全身化学療法があります。また最近では身体的な症状や精神的苦痛など“がん”に伴う様々な症状に対して治療を行っていく“緩和ケア”の早期介入が“がん”の予後や生活の質を保つ上で重要であることがわかってきています。当院でも“緩和ケア認定看護師”の育成など、様々な面からがん患者さんのサポートができるよう日々

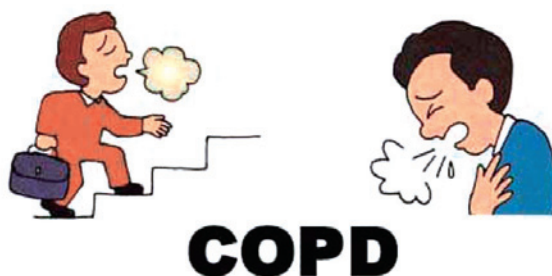


当院の放射線治療装置

努力しています。また当院は呼吸器外科がないことから外科的治療は近隣の専門医療機関へご紹介させていただいておりますが、放射線治療や抗がん剤による化学療法はこれまで多くの患者さんに治療を行ってきています。最近では、“分子標的薬”というこれまでと異なる抗がん剤の効果により、ガンの組織型（細胞の種類）によっては長期に延命効果が期待される治療も出てきています。そのような治療を有効に受けられるようにするため

にも、できるだけ早期に診断治療を開始することが大切です。検診を受けたり症状があるようなら早めに外来受診をしてみましょう。

呼吸器内科では、そのほかにCOPD（慢性閉塞性肺疾患：以前は肺気腫とか慢性気管支炎と言っていましたが、それを総合的にまとめて表現しています）、気管支喘息、肺炎、間質性肺炎、じん肺、アスベスト関連肺疾患、など様々な呼吸器に関する病気の対応を行っています。COPD外来や喘息外来は群馬大学から専門の医師を派遣していただき質の高い専門外来をご提供させていただいております。特にCOPDは喫煙との関係が明らかであり、現在症状がない人でも知らず知らずのうちに予備軍となっている可能性が十分にある怖い病気です。症状としては咳、痰、息切れなどが初期症状として見られますが、進行してくれば酸素療法が必要になったり、重症の肺炎を併発して命に関わる危険がでるなど、放置しておけない病気です。喫煙されている方は一度COPD外来受診してみてもいいかがでしょうか。



「内村鑑三記念 がん哲学外来開設一周年記念 シンポジウム」を終えて

がん診療推進室長・がん診療部長 見 供 修



昨年7月の公開講演会に来られた一人の方の提案から始まった当院の「内村鑑三記念 がん哲学外来」が開設されて1年を過ぎ、それを記念したシンポジウムが、師走に入った最初の土曜日午後、『偉大なるお節介 医療のすき間に光をともし』と題して、沼田市ホテル・ベラヴィータで開催されました。

「がん哲学外来」は、高度化、専門化している医療の中で、余計なお節介ではなく「偉大なる」お節介心により可能となる「すき間」を埋める活動の一つであります。一周年を記念した今回のシンポジウムは、医療のすき間に落ち込み、悩んでいる「がん難民」の方々にとって希望と励ましの「光」をともし活動を取り上げました。

今までの公開講演会のアンケートでは音楽を聴きたいとの要望も多くみられましたこともあり、がんの緩和ケアにおける音楽療法について、現在、日本赤十字社医療センター緩和ケア科で音楽療法に従事されておられる新倉晶子様をお招きし、「がんで痛む心に音楽を」のテーマでご講演をお願いいたしました。また、医学生、薬剤師の学生にはコミュニケーションスキルを身につけることが求められ、模擬患者を用いたOSCE（オスキー、Obstructive Structured Clinical Examination略）が大学に導入されています。群馬県内で模擬患者を育成し派遣している活動について、一般財団法人ライフプランニングセンター「新老人の会」群馬県支部事務局長の吉江福子様に紹介いただきました。



新倉晶子様は、クラリネット奏者の横澤真弓様（音楽療法士）とともに、持参のオートハープやピアノなどの楽器を用いて、死を前にしたがん患者様との交流、音楽による心の癒やしのプロセスを話されつつ、思い出の音楽を演奏しつつ、音楽療法によるがん緩和ケアの様子をご披露下さいました。また、「川の流れるように」をはじめ、会場の皆様とともに音楽を一緒に歌う機会も提供くださいました。音楽は人生の経験と重なっていることがあり、音楽を聴いたり、歌うことががん患者様にとってスピリチュアルな痛みの軽減や癒やしにつながりうると感じました。



吉江福子様は、群馬大学、高崎健康福祉大学などでの模擬患者活動をご紹介下さいました。医学生や薬剤師をめざす学生の方々のみが対象ではあり、まだまだ一般の方々には耳慣れない陰に隠れた活動であります。しかし、群馬県内でボランティアの方々を模擬患者に育成し、将来の医師や薬剤師をめざしている学生にとって患者様とのコミュニ

ケーションスキルを高める会話術を身につけるためには必要な活動であり、今後のご活躍とその発展が期待されました。

最後に、樋野先生が1年のご活動をご紹介下さいました。がん診療連携拠点病院などにある相談支援センター、がんサロンなどが、患者の抱えている諸問題の解決には不十分で、活用されていない現状が見られる中で、「がん哲学外来」は、患者の持つ悩みを聞くだけでなく「対話」を通じて、適切な「言葉」を紡ぎながら、患者さんやご家族にとり生きる希望と意欲を与えられる今までにはないアプローチであることを改めてご紹介くださいました。第一回の「がん哲学外来市民学会」（長野県佐久市、9月）、第2回「がん哲学外来コーディネーター養成講座研修会」（同）などとともに、北は岩手県盛岡市、「新渡戸稲造記念がん哲学外来 メディカル・カフェ」、南は、岡山県瀬戸内市、「神谷美恵子記念 がん哲学外来 カフェ in 長島愛生園」と「がん哲学外来」が次々に展開され、その裾野が徐々に広がられており、今後の展開に向けた希望をご報告いただきました（各地のがん哲学外来の所在地、配付資料に引用）。

講演後のシンポジウムでは、原澤梢さんに看護師の立場から特別に参加いただきました。当院初の緩和ケア認定



看護師となり、いままでの看護師とはひと味違った経験をもとに今後の抱負を話されました。がん緩和ケアにおける医療と看護の間にある「すき間」を埋める視点から今後の活動が期待されました。

最後に、利根沼田医療圏内外の医師会および医療関係者の皆様のご協力を始め、院長を始め職員の一致協力により無事に開催し、終了できました。ここにがん診療推進室として感謝申し上げます。



講演後のシンポジウムでは、原澤梢さんに看護師の立場から特別に参加いただきました。当院初の緩和ケア認定看護師となり、いままでの看護師とはひと味違った経験をもとに今後の抱負を話されました。がん緩和

ケアにおける医療と看護の間にある「すき間」を埋める視点から今後の活動が期待されました。4人の方々を交えたシンポジウムでは、音楽療法、模擬患者活動、がん哲学外来、認定看護師、それぞれにとりまして、専門化・高度化された医療、人と人との「すき間」を前にして、コミュニケーション、対話が「光をともし」ことになると再認識いたしました。

なお、今回の講演会のポスターは、沼田市に在住されて



職場紹介 手術室・内視鏡室

手術室看護師長 田中 敦子



内視鏡室

内視鏡・手術室は、看護師7名（うち、内視鏡技師免許取得者4名）、内視鏡室の看護助手1名と事務員1名のスタッフがおります。

内視鏡室は平成24年6月に内視鏡センターとして新設され、検査室が3ブース、診察室、器材置き場や洗浄室があります。検査室3ブースのうち、1室は緊急時の内視鏡治療に対応できるように広くなっています。検査を受ける方たちに、プライバシーが守られ、落ち着いた環境で、検査や治療に専念していただけるよう、そばに付き添いながら処置の説明等をしています。

内視鏡検査や治療は、1日20前後の件数があります。主に、胃内視鏡・大腸内視鏡等を行い、症状によっては、内視鏡的止血術、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的異物除去術などの処置や治療により様々な処置具を使用します。

検査や治療に来られる方は、胃腸症状のある方をはじめ、職場健診や市町村健診で精密検査を勧め



められた方や、人間ドック、また他院から紹介された方たちです。

内視鏡治療や検査は日々進化・発展しているので、常に新しい知識を取り入れて経験を積んでいくよう努力しています。また、地域みなさんや患者さん・ご家族が安心して検査・治療が受けられるよう、わかりやすい説明を心がけています。

手術室

手術室は、当院の2階にあります。主な手術は、消化器と乳腺です。そのほかに、皮膚科や泌尿器外来患者さんの小手術も行っています。最近では腹腔鏡を用いての消化器の手術が多くなりました。

手術を受ける患者さんのなかには、初めての場合も多く、手術前後の動揺や不安は計り知れないものだと思います。手術を前にした患者さんの不安を和らげ、安心して手術を受けられるように医師・看護師・その他の職種一丸となって関わらせていただきます。



利根沼田地区 新型インフルエンザ医療提供訓練

感染予防担当専門職 七五三木 聡一



冬季となり、インフルエンザ流行時期となりました。インフルエンザは、季節毎に少しずつ形を変え、流行を起こします。外出後の手洗い・うがいを習慣付けることが、インフルエンザ予防に繋がりますので、みなさん実施していけるようにしましょう。



今回、24年度利根沼田地区新型インフルエンザ医療提供訓練を、10月18日当院で実施させていただきましたので報告させていただきます。

新型インフルエンザとは、これまでの人の間で流行を起こしたことの無いインフルエンザウイルスが、トリやブタの世界から人の世界に入り、新たに人から人に感染するようになったものです。毎年流行を繰り返す季節性のインフルエンザと異なり、ほとんどの人が

そのウイルスに対する免疫を持っていないため、ウイルスが人から人へ効率よく感染し、世界的大流行（パンデミック）となる恐れがあるのです。発生に備え、医療提供訓練を実施し、患者受入れや連携、役割分担及び対応の確認をしておくことが必要となり、感染症指定医療機関である当院で実施されました。

当院・利根沼田広域消防本部・保健福祉事務所が訓練参加しました。参加者は、個人防護具を装着し、模擬患者が、救急車を呼び病院搬送され、感染症診察室にて診察、検体採取、感染症病室に搬送という設定で訓練を実施し、終了後には意見交換を行いました。見学参加者には、地域病院・市町村の担当者がおり利根沼田地域での取り組みとして行うことができ、地域で取り組む感染対策として確認されました。利根沼田地域における発症時、保健福祉事務所・市町村・他病院と連携を図り、迅速な対応を行えるように当院での感染防止対策を、より高めて行きたいと思います。





秋の健康フェスティバル

5病棟看護師 大井 きし江

11月6日（火）小雨の降る中、フレッセイ沼田ピバタウン店で、毎年恒例の秋の健康フェスティバルが行われました。内容は、栄養相談、医療相談、血圧測定、血管年齢測定、体重測定、体脂肪測定を行い、利用された方の測定を行ったり、相談にお答えしたりしました。

私は、血管年齢測定を担当し、30歳代から80歳代の方に利用して頂きました。高齢者の方でも、血管年齢が実年齢より50歳代から60歳代と若く測定された方もおり、とても嬉しそうに帰られていたことが印象的でした。血管年齢はあまり測定する機会がなく中には、初めて測定した方もおり、興味深そうにしていました。

健康フェスティバルを通して地域の方々とコミュニケーションを図ることができ、とても良かったと思います。今日の健康フェスティバルを通して地域の方々が健康管理に注意し、健康な毎日を過ごして頂けたらと思います。

平成25年も5月と11月に開催する予定です。皆様のお越しをお待ちしております。





クリスマスコンサート

2階病棟副護師長 関根 晃子

今年も華やかできらびやかなクリスマスシーズンがやってきました。みんながウキウキした気分で、楽しい季節ですが、入院生活を送り、毎日病氣と闘っている患者さんもいらっしゃいます。

そのような中、少しでもクリスマス気分を感じていただきたいと、毎年恒例のクリスマスコンサートと、聖歌隊によるクリスマスソングのプレゼントが行われました。

今年のクリスマスコンサートは、「沼田ギター・マンドリンクラブ」の演奏とマジックショーでした。演奏会での曲は、懐メロを中心に演奏して頂き、患者さん、スタッフ共に声を合わせて歌い、さながら往年の「うたごえ喫茶」のようでした。演奏中は、皆さん目をキラキラさせて聞き入っておられ、その光景を見た私達が、逆にプレゼントをもらった気がしました。患者さんに楽しんで頂けて、本当に良かったと思っています。



夕方は、看護師等（有志）による即席聖歌隊が各病棟にキャンドルサービスに伺いました。練習時間もあまりとれず、上手とは言えないクリスマスソングでしたが、歌に合わせて手拍子をして下さったり、お褒めの言葉を頂いたりで恐縮しました。

これからもこのような活動を継続し、入院生活での辛い気持ちが一瞬でも忘れられるような企画を考え、患者さんの心の慰みになったらと思います。



インフルエンザについてお話しします

薬剤科 調剤主任 斎藤 敏樹

Q1. インフルエンザと普通の風邪の症状との違い何ですか？

普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。また熱も高くないのが特徴です。一方、インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。

Q2. インフルエンザはいつ流行するのですか？

インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月頃に流行します。

Q3. インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか？

- 1) 流行前のワクチン接種
- 2) 飛沫感染対策としての咳エチケット
- 3) 外出後の手洗い等
- 4) 適度な湿度の保持
- 5) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 6) 人混みや繁華街への外出を控えるなどです。

Q4. インフルエンザの治療薬にはどのようなものがありますか？

- 1) 内服薬・・・タミフル シンメトレル
- 2) 外用薬・・・リレンザ イナビル
- 3) 注射薬・・・ラピアクタ

などの商品があります。



※ただし、その効果はインフルエンザの症状が出はじめてからの時間や病状により異なりますので、使用する・しないは医師の判断になります。抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期(発症から48時間以内)に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、ウイルス排出量も減少します。なお、症状が出てから2日(48時間)以降に服用を開始した場合、十分な効果は期待できません。効果的な使用のためには用法、用量、期間(服用する日数)を守ることが重要です。

新 任 職 員 紹 介



副診療放射線技師長

米倉 実

平成25年1月1日付けで、山梨県の甲府病院からの異動で沼田病院に着任しました、診療放射線技師の米倉です。平成16年から平成22年まで沼田病院に勤務しておりましたので、勝手知ったる・・・のはずなのですが、そうはいかず

記憶をたどりながら働いているところです。

安全で丁寧な検査をモットーに、患者様へ最良の医療画像とサービスを提供できるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



メディカルアシスタント

金井 恵美

11月よりメディカルアシスタントとして勤務しております金井恵美です。医療関係の仕事は初めての

で、日々新しい事に挑戦させて頂いております。早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

サイレントキラーにご注意を

栄養管理室 管理栄養士 石井 民子

「血圧」とは、心臓がポンプの作用によって血液を全身に送り出すときに、その血流によって血管にかかる圧力のことをいいます。心臓が収縮して血液を送り出す圧力が「最高血圧」、収縮後元に戻ったときの圧力が「最低血圧」です。年齢などによる個人差はありますが、最高血圧140mmHg以上、最低血圧90mmHg以上を「高血圧」といいます。

高血圧は長時間放置しておく、血管や心臓に負担を与え、動脈硬化や心臓病、脳血管疾患を引き起こす要因になりますので、早期発見・早期改善が重要です。しかし、高血圧は自覚症状がほとんどなく、自分でも気がつかないうちに悪化していることが多いため、「サイレントキラー（静かなる殺し屋）」とも呼ばれています。高血圧を引き起こす要因には、肥満・塩分過多・アルコール過多・過労・ストレス・喫煙・運動不足などがあげられます。これらの生活習慣に心当たりのある人はそれぞれを見直し、さらに定期的な血圧測定によって血圧を正常範囲に近づけるようにしましょう。

塩分を控える工夫として①塩分の多い食品（塩干物・インスタント食品・漬物など）を控える。②醤油・ソースなどの調味料は「かける」より「つける」。③麺の汁は残す。味噌汁は具沢山で汁少なめ。④酸味・香辛料や香味野菜（生姜・葱、にんにくなど）を利用する。ーなどがあります。どれでもいいので、やりやすい方法から始めてみましょう。

冬場は血圧が高くなりやすいといわれています。寒さによって体に力が入ると、体が緊張状態になり、血管が収縮します。そこへ普段と同じ量の血液が通ろうとして血管の圧力が大きくなり、当然血圧が高くなります。この時期より一層「サイレントキラー」にご注意下さい。



2階病棟看護師
青柳 純子

11月より看護師として外科に採用になりました青柳です。

長野で重症心身障害者病棟勤務を経験後、沼田病院に再就職しました。

外科勤務は初めてなので不安はありましたが、病院スタッフの皆さんに優しく、親切に指導して頂き、日々勉強させてもらっています。1日でも早く皆さんのお役に立てるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



4階病棟看護助手
相ノ山麻奈美

1月4日より、4階病棟看護助手として勤務することになりました相ノ山麻奈美と申します。以前は花屋に勤務していましたが、転職を考え

看護助手という仕事に興味を持ちました。全く経験のない職種ですが、一日も早く仕事を覚えてみなさんのお役に立てるよう、一生懸命頑張りたいと思ひますので、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

介護保険制度とは

地域医療連携室 退院調整看護師 小嵐 美津穂

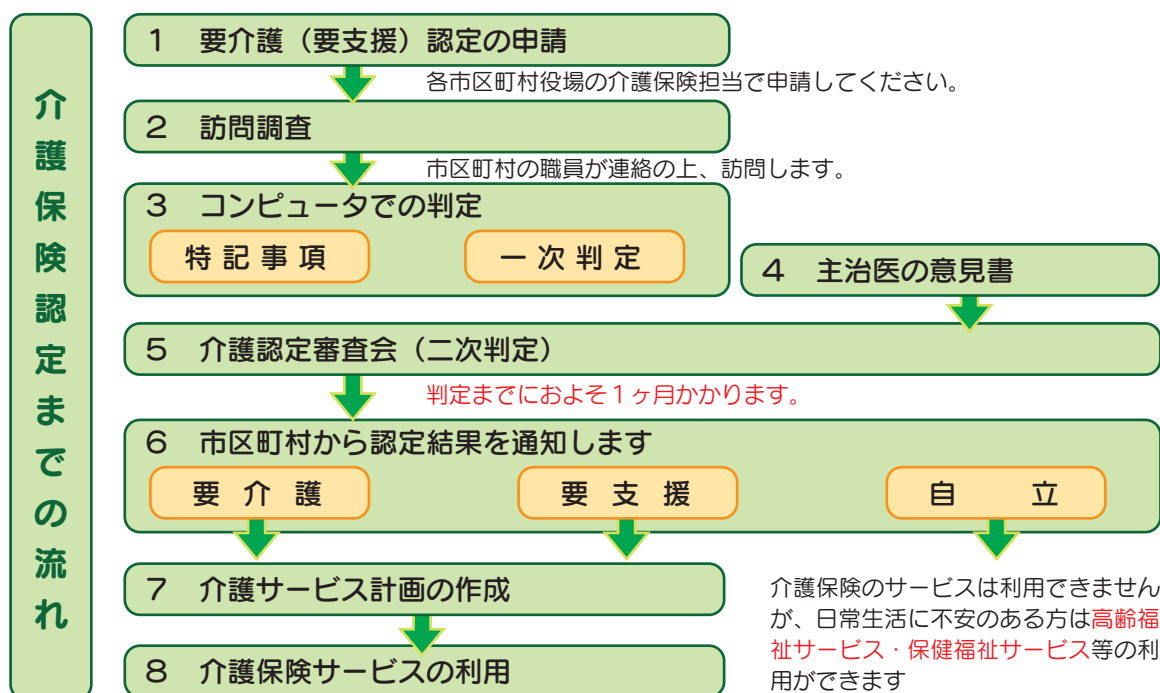
介護保険は、40歳以上の方が被保険者(加入者)となって保険料を納め、その保険料や税を財源に介護が必要と認定されたときには、原則1割負担で介護保険サービスを利用できる制度です。

介護が必要になっても、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように、市町村が保険者となり運営しています。

認定までの流れ

介護サービスを利用するには、「介護が必要である」と認定されることが必要です。

サービスを利用するまでの手続きの流れは、以下のようになっています。



●介護保険に関する問い合わせ・相談窓口●

- I 各市区町村役場の介護保険担当窓口
- II 地域包括支援センター・在宅介護支援センター
- III 病院・施設の相談員

■介護保険の申請に必要なもの■

- ・40～64歳の方：健康保険証・印鑑
- ・65歳以上の方：介護保険被保険証・印鑑

<注意>

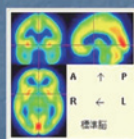
- ・40歳～64歳の方（第2号被保険者）は、介護保険法で定める。
- ・特定疾患が原因で要介護状態になった場合に申請することが出来ます。

※ご不明な点は地域医療連携室までお問い合わせください。相談員が対応いたします。

沼田病院より 核医学(RI)検査日拡大のお知らせ

2013年1月より放射線科の
核医学検査日を月曜から金曜日の毎日、実施いたします。
検査待ち時間の短縮と検査依頼の増大に対応します。
ぜひご利用ください

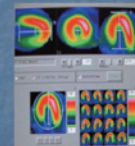
主な核医学検査



脳血流シンチ



骨シンチ



心筋シンチ

国立病院機構沼田病院

地域医療連携室

電話 0278 23 3972

FAX 0278 23 2157

沼田病院の外来受診のご案内

1. 外来診察の受付時間は8:00～11:30 です。

午後は小児科のみ 14:30～16:30 に受付を行っております。また、検査・手術・特殊外来等の予約患者さんに対応しております。

2. 土・日・休日・夜間の受診について

土・日・夜間は、緊急性のある患者さんに対応しています。

特に、夜間は救急車で搬送される患者さんを優先して診察をしています。

そのため、軽傷の患者さんは待ち時間が長くなったり、翌日の診察を勧める場合もありますので、ご了承下さい。

体調不良を感じましたら、できるだけ午前中8:30～11:30 までに受診されることをお勧めします。

病院ボランティア募集

あなたのやさしさを、あたたかいふれあいを、あなたの助けをお待ちしております。

****活動内容****

○外来での総合案内

診療科・検査科・放射線科への案内、車椅子介助、診療申込書等の代筆、受付機の取り扱いなど

○植木・花壇の手入れ

○入院患者さまの話相手、朗読

○芸能、音楽など

****問い合わせ先****

地域医療連携室 MSW 小淵(おぶち)まで

看護師募集

ゆったりと、思いやりのある看護を志す方を求めています。

1. 看護単位：

病棟(3) 手術・中央材料室 外来

2. 看護方式：

固定チームナースングと受持看護を併用

3. 勤務体制：

4週8休 3交替制

4. 卒後教育：

クリニカルラダーに沿った充実した経年別教育

詳しい内容についての問い合わせは
総看護師長室 まで

編集後記

明けましておめでとうございます

昨年は当院の将来構想計画策定と29年ぶりの年末選挙が行われ、言葉通り“せわしい師走”となりました。

明けた元日の朝は、青空が広がり、素晴らしい朝日を拝む事が出来ました。沼田の最低気温は1.2度・最高気温は10.2度でした、まだまだ寒い日が続きますね・・・うがい・手洗いをこまめに行い、風邪などひかぬ様元気に過ごしましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域連携室 HP 委員会委員 小松 浩幸

外来診療担当医師一覧表

平成25年1月現在

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
総合内科1	午前	飯塚	石原	桑原	青木	根岸	
総合内科2	午前	萩原	栗林	飯塚	角田	高橋	
総合内科3	午前	嶋田	林	根岸	武井	林	
総合内科	午前			高橋			
内科(肝臓・消化器)	午前					橋爪	
内科(神経内科)	午前					水野	
小児科	午前	湯原・高橋	高橋・(湯原)	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	
	午後 14:30~16:30	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原・(高橋)	インフルエンザ予防接種	湯原・(高橋)	
総合外科1	午前	沼賀	前村	岩波	六本木	前村	
総合外科2	午前	六本木			岩波		
整形外科	午前 ~11:00	—	柳澤(真)	—	喜多川	—	割田(予約制)
泌尿器科	午前	伊藤(完全予約制)	—	—	—	—	
婦人科	午前 ~10:45				松井		
眼科	午後 13:30~				13:30~ (予約制)		
耳鼻いんこう科	午前				高安		
皮膚科	午前				中村(完全予約制)	中村	
放射線治療科	午前 午後	見供(新患)	見供(再診) 高草木	見供(新患)	見供(再診)		

専門外来診療一覧表

※は、基本的に**予約**又は**紹介**

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
消化器科外来		※14:00~16:00 (完全予約制)		※14:00~16:00 (完全予約制)			
乳腺・内分泌外来				15:00~16:00			
糖尿病外来				※常川 14:00~16:00			
フットケア外来		※14:00~16:00					
喘息・アレルギー呼吸器外来			※久田(予約制) 14:00~16:00				
循環器内科外来		※林(完全予約制) 14:00~16:00		※林(完全予約制) 14:00~16:00		※飯塚 14:00~16:00	
心臓血管外科外来				※16日(群大Dr) 14:00~16:00			
肝臓外来						※嶋田(完全予約制) 14:00~16:00	
COPD 呼吸器外来					※青木 14:00~16:00		
看護外来					※外来看護師 13:00~16:00		
セカンドオピニオン外来		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
緩和ケア外来		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
リハビリテーション		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
糖尿病教室(無料)		14:00~15:00	11:00~12:00	11:00~12:00	15:00~16:00	11:00~12:00	
内分泌外来		※根岸 14:00~16:00					
禁煙外来					※桑原・根岸 14:30~16:00		

■□ 上記のほか臨時に休診・代診となることがありますので**正面玄関入り口の掲示板**をご確認ください ■□

診療時間 午前8:30~午後5:15

診療受付時間 午前8:30~午前11:30 (予約の再診及び専門外来を除く)

診療日 月曜日~金曜日(祝日、12月29日~1月3日は除く)

面会時間 全日午後1:00~午後8:00 ご面会の方はスタッフステーションで病室をご確認の上ご面会下さい。

交通案内図

●JR上越線をご利用の場合

沼田駅	関越交通バス (大清水・鎌田・川場行き)	国立病院前	徒歩2分
沼田駅	関越交通バス (沼田市保健福祉センター行き)	終点	徒歩3分

●自動車をご利用の場合(関越自動車道)

沼田I.C	車で5分
-------	------

沼田病院



当院が所在する地域の尾瀬の「水芭蕉」を图案化したもので、中央に沼田病院を英字で表示した。(テーマ: 地域に根づく医療)

